



# 稲穂

小樽市立稲穂小学校  
学校だより No.4  
令和7年 7月 7日  
文責 主幹 鎌田新平

【学校の教育目標】  
りこうで たっしやで  
ほがらかな 稲穂の子

稲穂小 WEB



暑い夏、元気に乗り越えましょう！

主幹教諭 鎌田 新平

小樽では6月から気温が高い日が続き、24日、25日には連日30℃を観測し、2日連続の真夏日となりました。教室ではクーラーが稼働し、快適な環境で学習することができていますが、気温が特に高かった25日には外遊びを中止するなど、熱中症対策を行いました。今後も熱中症指数や気温などの状況を細かに確認しながら対策を行っていきます。

さて、小樽ではお祭りが市内各地で行われています。今月も小樽3大祭り（2つは水天宮、龍宮）の最後の一つ、住吉神社例大祭が行われます。15日はB日課4時間（給食はあります）となります。校区外のため子ども同士で行くことはできませんが、お家の方と行く際には、楽しんでくれたらと思います。

6月30日には、藤間流の方々を講師に迎え、「潮音頭」講習会が行われました。子どもたちは元気なかけごえとともに、楽しく踊ることができました。7月26日に行われる潮ねりこみも楽しみです。

今週から個人懇談が行われます。保護者の皆様とお子さんのがんばりや成長、課題などを共有し、夏休みや2学期に向け、前向きに過ごせるようお話ししていきます。よろしくお願いいたします。

## 開校130周年記念事業 航空写真撮影実施！

開校130周年記念事業の第一弾として、全校航空写真撮影を6月17日に行いました。快晴に恵まれ、眩しい太陽の下、全校児童と職員がグラウンドに集まり校章のデザインに合わせて整列し、空高く舞い上がったドローンで撮影が行われました。（ドローン



で撮影というのが時代の移り変わりを感じます。）当日は、とても眩しくて暑い中でしたが、130周年の思い出として子どもたちの記憶に残る事と思います。

今回撮影した航空写真や学級写真は、開校130周年記念誌や記念品等で使われていく予定です。また、WEBでの希望販売がされます。皆さん、お楽しみに！

## 6年生 修学旅行で深まった絆をこれからの学校生活充実につなげて！



6月25・26日、6年生が修学旅行に行ってきました。2日間を通して天候にも恵まれ、登別・洞爺湖方面の各見学地で施設の見学や湯飲み作りなどを通して北海道の自然を体感しながらアイヌ文化、縄文時代の暮らしなど体験的に学びを深めることができました。



友達と協力し合い集団行動する姿が様々な場面で見られました。そして、各見学地では、解説員の話真剣に聞き、一生懸命にメモをとる姿があり、大変立派な姿だと感じました。自分の体全体で感じた五感を通



した豊かな学びになったことと思います。

ホテルやバスでの仲間と長く過ごした時間は、互いを思いやり自分自身どう行動することが、みんなの楽しさに繋がるのかを学んだ素晴らしい時間になった事と思います。

友達と楽しく過ごし深まった絆を、これからの学校生活に生かし、それぞれが生活・学習の頑張りにつなげてくれることを期待しています。

## 5年生「船と船員さん教室」で楽しく学びました

6月27日に全日本船員組合による「船と船員さん教室」が、国立小樽海上技術短期大学校で行われました。5年生が船の役割や船員の仕事、操船シミュレーションやロープワーク、バーチャルカツオ漁などを楽しく体験的に学び、大変有意義な学びとなりました。港町小樽でも船を詳しく知る機会はなかなかありませんが、この学びを通して子どもたちの船への理解が深まった1日でした。



## 130周年 稲穂小7千歴史

**校歌制定** 開校百周年記念によると、本校の校歌は、大正3年の創立20周年記念式典で初めて披露されたと記されています。当時の校名にちなみ「稲穂尋常高等小学校校歌」です。

現在の校歌は、新校歌として大正11年3月に制定されています。作詞を加勢蔵太郎氏、作曲を鈴木米次郎氏に委嘱し、山田耕筰氏の補作を受けて制定されました。

山田耕筰氏は「赤とんぼ」の作曲で知られる日本を代表する音楽家です。その方が補

作しているというのは、当時の小樽がいかに隆盛していたかが伝わってきます。

昭和17年に作詞家加瀬氏の了解を得て、歌詞の一部を訂正して現在も歌われています。

### 稲穂小学校校歌

作詞 加勢 蔵太郎  
作曲 鈴木 米次郎  
補作 山田 耕筰

一、 培うは 至誠の力  
(つちう まこと)

とくと 貴かり 稲穂の校庭よ  
にわ

まかがやく 真輝く 海の朝日に

いの 祈らばや 我等の前途  
ゆく

二、 湛うるは 希望の泉  
ただ のぞみ

うれ 嬉しかり 稲穂の学園よ  
その

あかね 茜さす 嶺の夕日に  
みね

ほが 祝わばや 我等の光栄  
さかえ